

令和3年度札幌日大高校 SSH2年 生徒研究発表会

1. 目的 (1)課題研究に関する成果を発表することにより、伝える内容を簡潔にかつ論理的に考察し、それぞれの課題に対する理解を深める。
(2)科学分野に関する様々な表現を学び、それらを実際に使うことにより、科学的コミュニケーション能力を向上させる。
(3)生徒の科学技術に対する興味・関心を喚起するとともに、今後の課題を確認する。
(4)SGL・MLP 選択生徒が聴衆・代表発表者として参加することにより、SSH 選択生徒との交流及び、異なる視点からの質疑を促す。

2. 会場 ZOOM を用いた外部配信

3. 日時 令和4年2月5日(土) 9時05分～12時42分

4. 視聴対象者 SSH の事業に賛同し、科学探究や教育について関心のある者

5. 時程表 (※若干の変更の可能性があります。)

時刻	内 容
9:05～	口頭発表予選会 A～E の5つのルームで同時展開
10:50～	代表者発表会 開会宣言・校長挨拶・運営指導委員紹介
11:00～11:10	SGL 代表者発表
11:10	予選会結果発表
11:15～12:25	口頭発表①～⑥ 6つの班が発表 口頭発表1つ終わるごとに質疑を行う。
12:25～12:40	発表終了 全体講評(運営指導委員より)
12:40～12:42	生徒代表謝辞 閉会

6. 申込 1月21日(金)までに以下のフォームより事前申し込みをお願いします。

<https://forms.gle/4tBQeAfGxuZjd7iS9>

申し込み後、ZOOM の配信 URL をメールにてお知らせします。

【口頭発表予選会 研究タイトルとルーム】

No	研究タイトル	ROOM
1	集中できる環境⇒購買中の脳波がどのように出力されているか	A
2	エゾサンショウウオの温度変化による行動活性の違いー冬眠の条件	A
3	小型風力発電の開発 ブレード形状の最適化	A
4	ゲームをしている時、人間の脳はどういう反応をしているのだろうか	A
5	音楽による快・不快の周波数特性	A
6	エゾアカガエルの体が赤くなる原因を探る	B
7	生分解性の発展と利用	B
8	酢酸ナトリウムの過冷却と溶媒の関係 ～新規溶媒の検討～	B
9	ネオジム磁石を使った地磁気の測定	B
10	活性汚泥中の微生物と種	B
11	赤毛米の利用	C
12	ケルセチンスルホン酸の製造方法	C
13	回転とノビ	C
14	コケの持つ抗菌作用	C
15	生活環境における脳のはたらき	C
16	じゃがいもの雪中貯蔵と糖度変化	D
17	ツメガエルの学習能力	D
18	THCによる住宅柱の内部診断	D
19	貸し出し本に付着している菌の量を調べる	D
20	生物模倣と風力発電	E
21	α ピネンの抽出	E
22	オーロラの色の変化	E
23	香り抽出とエッセンシャルオイルの実用化	E
24	微粒子pm2.5/0.5の動きについての研究	E